



夢 実 現



附属桜中学校開校式

北部地域の念願だった中高一貫校である名護高等学校附属桜中学校がいよいよ開校しました。

一期生となる新入生と高校への新入生、そして保護者、多くのご来賓にご臨席を賜り令和5年4月7日名護高校体育館にて盛大に開校式が行われ、半嶺満県教育委員会教育長からごあいさつと校旗の授与があり、地元名護市の渡貝知武豊市長より祝辞をいただくなど、祝福ムードに包まれました。「二一世紀をリードするグローバルな高い志を持つ人材」に育ってほしいという願い



を持ち、「先を見据えた教育活動を進める学校」が、ここ名護の地に誕生したのです。新入生の皆さんは夢と希望を持ち、充実した6年間を過ごしてください。そして、名護高校の先輩の皆さんも、共に同じ学校で中学生を温かく見守り、リードしてしてくれることだと思います。高校と中学校が一つとなり、生徒・職員一丸となって新たな歴史を作る主人公になっていきましよう。

令和5年度 始業式・入学式

待ちにまった令和5年度がスタートしました。

始業式では、気持ちを新たに元気な新2,3年生が体育館に一堂に集まり新しい担任発表に歓喜の声と盛大な拍手で盛り上がりました。午後の本校初、中高合同入学式では、新入生高校311名と中学校40名が保護者、来賓に見守られる中一人ひとり呼名されました。新入生代表誓いの言葉を、中学生代表鯨岡花音(名護小)さんと、高校生代表野原朝翔(東江中)さんが行い、生徒会長知念莉子さんが在校生を代表して歓迎の挨拶で迎え入れ、それぞれ感動を与えてくれました。末吉PTA会長からご祝辞もいただき、新たな学校生活の幕開けとなりました。



あいさつ

今年度新たに46名の教職員が本校に赴任しました。生徒数が高校941名、中学校40名、計981名で職員数も102名となり、大きな学校ですが、生徒、保護者、地域と共に、個性を尊重しながら、それぞれが「高い志を持ち、夢を実現」できるよう生徒一人ひとりの「命」を守り、「心」に寄り添い、「夢」を育み、未来につながる「今」を大切にしながら、学校教育活動に取り組んでいきます。

生徒の皆さんは、自分の将来の夢・目標を高く持ち、その希望を叶えるために身近な目標と計画を立て、今何をすべきか考えて日々を大切にしてください。その繰り返しですが、「夢実現」に繋がります。新しい学年のスタートです。一緒に充実した学校生活にしていきましょう。